

COMPANY RESEARCH AND ANALYSIS REPORT

|| 企業調査レポート ||

大幸薬品

4574 東証 1 部

[企業情報はこちら >>>](#)

2017 年 9 月 11 日 (月)

執筆：客員アナリスト

角田秀夫

FISCO Ltd. Analyst **Hideo Kakuta**



FISCO Ltd.

<http://www.fisco.co.jp>

■ 要約

2018年3月期第1四半期は大幅な増収増益を達成、 新製品「正露丸クイックC」を販売開始

大幸薬品<4574>は、「正露丸」「セイロガン糖衣A」を中心とする医薬品事業と、ウイルス除去・除菌・消臭製品「クレベリン」シリーズを中心とした感染管理事業を展開している。2017年4月に新製品「正露丸クイックC」を販売開始した。

● 2018年3月期第1四半期の業績概要

2018年3月期第1四半期（2017年4月－6月）は、売上高が1,397百万円（前年同期比34.3%増）、営業利益が181百万円（同177百万円増）、経常利益が128百万円（同219百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が99百万円（同135百万円増）となった。前年同期比で大幅な増収増益を達成し、幸先の良いスタートとなった。

売上高に関しては、各事業が好調な滑り出しをみせた。国内医薬品事業は、前年同期に高水準だった流通在庫が正常化したこと、新製品「正露丸クイックC」の店頭販売が開始されたこと等から大幅増収となった。海外医薬品事業は、香港と台湾を中心に前年同期並みに進捗、中国市場向けは第2四半期からの出荷となる予定である。

感染管理事業は、例年、季節性インフルエンザ等の感染症流行が沈静化する第1四半期（4月－6月）はオフシーズンとなるが、当第1四半期は、デンソー<6902>向けクレベリンカートリッジ（車両用）の出荷増加や、アース製薬<4985>との共同開発製品「クレベリン トイレの消臭除菌剤」の店頭販売開始等から、前年同期比105.0%増の大幅増収となった。他社とのアライアンスが奏功し、オフシーズンの底上げにつながった形だ。

売上総利益は増収に伴い増加（前年同期比35.7%増）した。販管費は新製品「正露丸クイックC」の販売開始に伴う販売費（広告宣伝費、販売促進費等を含む）増加（同47.7%増）等により同10.6%の増加となった。結果として、営業利益は、第1四半期としては前年同期を大幅に上回る形になった。

要約

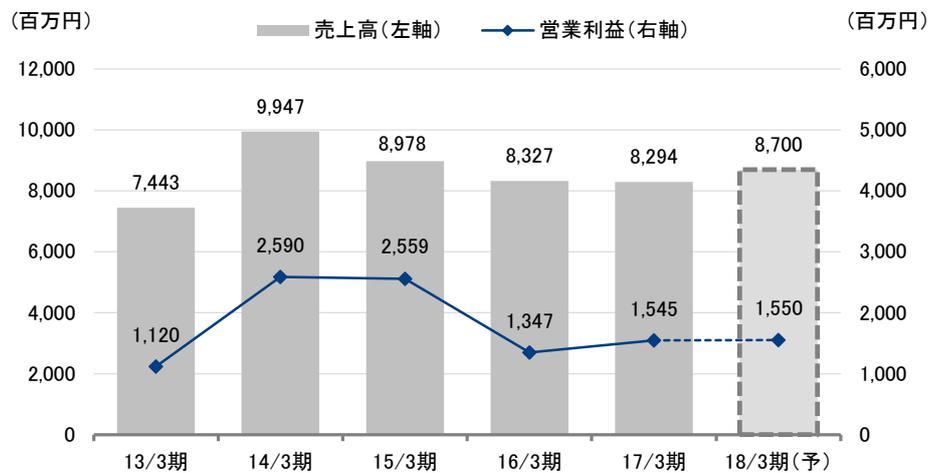
2018年3月期第1四半期 連結サマリー

(単位：百万円)

	17/3期1Q		18/3期1Q		前期比	変化要因
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	1,040	100.0%	1,397	100.0%	34.3%	
内) 国内医薬品事業	785	-	1,010	-	28.7%	国内医薬品は流通在庫が正常化し出荷増加、新製品「正露丸クイックC」販売開始
内) 海外医薬品事業	162	-	193	-	19.5%	海外医薬品は香港・台湾向けが前年同期並み。中国向けは2Qから出荷予定
内) 感染管理事業	89	-	183	-	105.0%	感染管理はオフシーズンだが、他社とのアライアンス製品が寄与して増収
差引売上総利益	705	67.8%	957	68.5%	35.7%	増収の影響で増加
販管費	701	67.4%	775	55.5%	10.6%	広告宣伝費、販売促進費が増加
営業利益	3	0.4%	181	13.0%	-	
経常利益	-91	-8.8%	128	9.2%	-	為替差損40百万円減
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-35	-3.4%	99	7.1%	-	補助金収入19百万円計上

出所：決算説明会資料よりフィスコ作成

通期業績の推移



出所：決算短信よりフィスコ作成

■ 今後の見通し

医薬品事業、感染管理事業ともに足元好調、通期業績の上振れを期待

● 2018年3月期の業績見通し

2018年3月期通期の業績予想は売上高で前期比4.9%増の8,700百万円、営業利益で同0.4%増の1,550百万円、経常利益で同7.6%減の1,300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益で同14.2%減の900百万円と期初の予想を据え置いている。

国内医薬品事業では、新製品「正露丸クイックC」の販売開始に伴い、認知率向上を図り重点的に広告宣伝・販売促進を行うことで、止瀉薬市場での市場シェア回復を目指している。海外医薬品事業では、第1四半期は前年同期を上回っている。期初の業績予想では、原材料仕入先における製造トラブルによる中国向け製品の生産遅延リスクを保守的に考慮した売上高としていたが、中国市場向けは第2四半期からの出荷再開とされており、当該リスクは解消に向かいつつあるもよう。感染管理事業では、他社とのアライアンス等により、クレベリンブランドの認知率向上を狙い、インフルエンザが流行しないオフシーズンでの売上高底上げも図る。営業利益は、通期では販管費増加により微増の業績予想としているものの、第1四半期では既に前年同期を大幅に上回っており、好調さが伺える。

新製品「正露丸クイックC」による牽引、中国市場向けの出荷再開、クレベリンブランドの認知率向上及びインフルエンザ流行による感染管理事業の一層の成長等により、業績予想に対する上振れが期待される。

業績の推移

(単位：百万円)

	売上高	前期比	営業利益	前期比	経常利益	前期比	純利益	前期比	EPS (円)	配当 (円)
12/3期	6,683	44.7%	515	-	558	-	482	-	37.23	15
13/3期	7,443	11.4%	1,120	117.7%	1,211	116.8%	1,037	115.2%	81.31	15
14/3期	9,947	33.6%	2,590	131.3%	2,683	121.5%	1,747	68.4%	135.94	25
15/3期	8,978	-9.7%	2,559	-1.2%	2,776	3.5%	1,770	1.3%	138.93	25
16/3期	8,327	-7.3%	1,347	-47.3%	1,307	-52.9%	840	-52.6%	65.23	15
17/3期	8,294	-0.4%	1,545	14.7%	1,407	7.7%	1,049	24.9%	76.45	20
18/3期(予)	8,700	4.9%	1,550	0.4%	1,300	-7.6%	900	-14.2%	63.74	15

出所：決算短信よりフィスコ作成

大幸薬品
 4574 東証1部

 2017年9月11日(月)
<http://www.seirogan.co.jp/>

■ 中長期の成長戦略

新製品「正露丸クイックC」で若年層を取り込み、シェア向上を図る

同社が2017年4月に発売した新製品「正露丸クイックC」は、正露丸、セイロガン糖衣Aの主成分「木クレオソート」の単味生薬製剤であり、中身が液体のソフトカプセルで素早く溶け出すため、胃で吸収され急な下痢等のトラブルに効果がある。16カプセル入りで、希望小売価格1,000円。これまで正露丸を使った経験の少ない10代から30代の若年層を取り込み、市場拡大とシェア向上を目指している。

2018年3月期第1四半期の正露丸クイックCの売上高は69百万円であり、全国の小売店に配荷され、店内において一定の陳列スペース確保した段階だ。認知率向上はこれからの課題になる。同社は、新たなCMを夏の需要期から重点的に全国放映している。また、特設Webサイト「腹弱図鑑（はらよわずかん）」をオープンし、急なおなかのトラブルエピソードを、連続ドラマや街角で取材した体験談等で紹介している。WebサイトやSNSを通じて製品情報を発信することで、止瀉薬（ししゃやく）のエントリー層である、若年層に対して使用機会の浸透を図る狙いである。

特設サイトの画像イメージ

出所：ホームページより掲載

他社とのアライアンスにより、 クレベリンブランドの認知率向上を目指す

同社は、クレベリンブランドの認知率向上と製品普及のために、他社とのアライアンスを積極的に行っている。

一例としては、アース製薬との共同開発製品として、2017年3月に発売された「クレベリン トイレの消臭除菌剤」がある。クレベリンの消臭・除菌機能をトイレ用消臭・芳香剤に応用したものである。二酸化塩素には不快な臭いの原因菌を除去する効果があるため、空気中での除菌による消臭効果が期待できる。この点が、一般的な消臭剤とは異なり画期的である。同社が製品を供給し、アース製薬が最終製品化、営業、マーケティングを手掛ける。

また、デンソーが販売する車両用クレベリン発生機もアライアンス製品である。この製品は、短時間（約20分）で、洗浄が困難なシートや車室内のニオイ、ウイルス、菌を除去する。両社が共同開発したクレベリン発生機をデンソーが販売し、同社はクレベリンカートリッジを供給する。2018年3月期第1四半期にも、カートリッジの出荷が好調に推移した。

2016年10月に限定発売して人気を博した「クレベリン×ベアブリック」は、2017年もキャラクターデザインを新たに登場させる。当期は「ミッキー・マウス」、「ジャック・スケリントン」、「ダース・ベイダー」、「ストームトルーパー」の4種類が販売される。「クレベリン×ベアブリック」は“置きたくなるおしゃれなデザイン”をコンセプトに開発され、前期も消費者からの支持が高かった。当期は、幅広い世代に人気のディズニーキャラクターをデザインし、クレベリンをより身近にするよう取り組む。

新キャラクターデザインのクレベリン

ウイルス・菌を除去する衛生管理製品『クレベリン×ベアブリック』に
数量限定でディズニーキャラクターデザインが新登場
 ～「ミッキー・マウス」、「ダース・ベイダー」など4種類～



© Disney © & ™ Lucasfilm Ltd.

出所：リリース資料より掲載

重要事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ